

鎌倉で宇都宮を発見!?



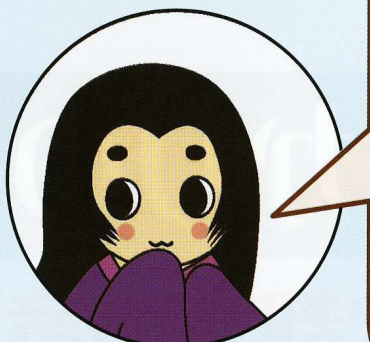
現在の宇都宮稲荷神社

鎌倉なのに宇都宮稲荷神社?

鎌倉市に、みなさんの住んでいる宇都宮と、とても関係の深いところがあることを知っていますか?

実は、鎌倉市には宇都宮稲荷神社うつのみやいなりじんじやという名前の神社があるのです。もともとは、源頼朝が開いた鎌倉幕府の有力な家来、宇都宮氏うつのみや※1の家があった場所でした。そして、家の前の通りを宇都宮辻子うつのみやずし※2とよんできました。この場所には、幕府の中心地が11年間置かれていたことがあり、宇都宮辻子うつのみやずし幕府とよばれていたこともあったそうですよ。今では、宇都宮稲荷神社として当時をしのぶことができます。

鎌倉幕府と宇都宮氏の関係の深さを物語っている神社ですね。



うつのみや百人一首マスコットキャラクター
みやびい

宇都宮稲荷神社

住所 鎌倉市小町2丁目15
鎌倉駅から徒歩で約10分
(雪ノ下教会と鎌倉彫資料館の間の道を入り右側)

※1 宇都宮氏…現在の宇都宮市を中心に下野の中央部を治めていた豪族。現在の城址公園にあった宇都宮城の城主。

※2 宇都宮辻子…辻子とは、小道や通りという意味。宇都宮辻子とは、宇都宮氏の屋敷があった場所の通りのこと。

宇都宮氏も通った鶴岡八幡宮

鎌倉に幕府を開いた源頼朝つるがおかはちまんぐうは、鶴岡八幡宮を中心に鎌倉の町づくりをしました。幕府の儀式や行事はすべてここを中心に行われていたので、幕府の有力な家来であった宇都宮氏も何度も訪れているはず。鎌倉のシンボル、鶴岡八幡宮にもぜひ行って見てね。



現在の鶴岡八幡宮

宇都宮市教育委員会 文化課 作成
資料に関する問い合わせは文化課まで
TEL 028-632-2768

鎌倉幕府と宇都宮氏

鎌倉幕府で大活躍！

3代 宇都宮 朝綱(ともつな)
源頼朝の有力な家来として活躍

5代 宇都宮 頼綱(よりつな)
百人一首の成立に深く関係

6代 宇都宮 泰綱(やすつな)
鎌倉幕府の重要な役職につく

7代 宇都宮 景綱(かげつな)
鎌倉幕府の重要な役職につく

8代 宇都宮 貞綱(さだつな)
元寇げんこうに対して、大將軍として出陣

宇都宮氏は、鎌倉幕府からいろいろな仕事を頼まれていました。

ここでは、宇都宮氏が鎌倉時代にどのようなことをしていたのかを、代表的な人物と一っしょに紹介するね。社会科の歴史にも関連している、**すごい人がたくさんいたんだよ。**



うつのみや百人一首マスコットキャラクター
みやびい

百人一首ゆかりの宇都宮

鎌倉と宇都宮の意外な共通点

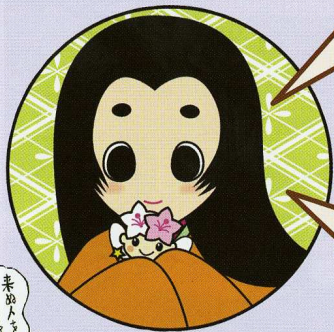
鎌倉に幕府ができて、京都から鎌倉に政治の中心がうつりましたが、京都と同じように、鎌倉でも和歌をよむ人が増えてきて、はなやかな文化が開きました。すると、京都や鎌倉で生活していた宇都宮氏の人々の中にも和歌をよむ人が増えて、宇都宮でも多くの人が集まって歌会が開かれたそうです。

鎌倉時代の宇都宮は、なんと京都・鎌倉について和歌の文化で盛り上がった町だったのよ！

宇都宮の和歌をよむ人といえば、5代城主 宇都宮頼綱よりつな。出家してからの「蓮生法師」という名前の方が有名かしら？当時一番有名な歌人だった藤原定家ふじのらさだいえと親しくなり、家のふすまにはるための和歌の色紙をお願いしました。そのとき定家を選んだ歌百首が「小倉百人一首」のもとになったんですって。

みんなが今、会話科や国語科で勉強している百人一首は宇都宮ゆかりなんだね。

百人一首が、私たちのまち宇都宮に深く関係があることをほこりに思いながら、楽しんでくださいね。



百人一首

